



国民春闘共闘

第3号

2014年12月26日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2014年度年末一時金・第3回集計：最終

加重 67 万円 単純 65.4 万円・2.05 ヶ月

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 25 日、2014 年の年末一時金第の最終集計をおこない、27 単産・部会 574 組合から報告が寄せられました。

年末一時金第3回集計の結果は以下のとおりです。

<回答状況>

	2014 年	2013 年（同期）
登録組合数	759	775
回答組合数	574 (75.6%)	593 (76.5%)
うち上積み獲得	178 (31.0%)	149 (25.1%)
うち妥結組合数	421 (73.4%)	397 (67.0%)

<回答内容>（月数および金額）

集計方法&対象		2014 年	2013 年（同期）	（前年比）
単純平均	月数	2.05	2.01	+0.04
	額（円）	654,373	643,976	+10,397
加重平均	額（円）	670,068	682,832	-12,764
	組合員数（人）	156,140	164,753	

*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

<単純平均額で前年実績と比較可能な組合での回答状況>

	2014 年	2013 年
比較可能組合数	282	305
うち前年額以上	178 (63.1%)	184 (60.3%)
（前年超）	162	166
（同 額）	16	18

<前年実績と比較可能な組合での単純平均金額>

組合数	単純平均額（円）	前年実績	（前年比）
282	665,667	656,528	+9,139

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

2014年度の年末一時金最終集計には、別表の27単産・部会から報告が寄せられました。

回答を引き出したのは登録759組合のうち574組合で、回答引き出し率は75.6%となりました。支給日を前に追い上げがはかられ、回答引き出し率は、前回調査（12月5日時点：60.6%）から15ポイント増えました。前年同期（2013年12月19日時点：76.5%）と比べるとわずかに下回っています。

全労連・全国一般の組合で6次回答を引き出したのをはじめ、化学一般労連、全印総連、日本医労連、地方マスコミの計4組合で5次回答、JMIU（3）、日本医労連（3）、化学一般労連（2）、検数労連（2）、地方マスコミ（1）の11組合で4次回答を引き出すなど、回答引き出しのあった組合のうち数次にわたる上積み回答を引き出したのは、178組合・31%となっています。前回調査（142組合）から36組合増え、前年同期比（149組合・25.1%）5.9ポイント増と大きく上回りました。

妥結組合は421組合で、妥結率は73.4%です。前回調査（218組合・47.4%）から大幅に増え、前年同期（妥結率67%）を6.4ポイント上回りました。

全体の回答内容

月数回答のあった550組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は2.05ヵ月で、前年同期（2.01ヵ月）を0.04ヵ月、前年実績からも0.01ヵ月のプラスとなりました。

建設関連労連で7.2ヵ月を獲得したのを筆頭に、140組合（前年同期137組合）が2.5ヵ月以上を引き出し、うち62組合（前年同期62組合）が3.0ヵ月以上を勝ち取っています。

前年実績単純平均月数と比較すると、比較可能な26単産・部会のうち、月数で前年実績比プラスとなったのは、建交労・建設、建設関連労連、JMIU、合同繊維労組、建交労・運輸、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、生協労連、全労連・全国一般の卸売・小売、金融労連、民放労連、出版労連、特殊法人労連、地方登録組合、地方マスコミの16単産・部会、同水準が全農協労連、化学一般労連、外銀連の3単産・部会、マイナスが全労連・全国一般の製造、建交労・鉄道、通信労組、全証労協、全印総連、映演労連、日本医労連の7単産・部会となっています。

金額回答のあった315組合での単純平均額は654,373円となりました。対前年同期比で10,397円上回っています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は、670,068円で、前年同期を12,764円下回っています。そうした中、前年同期を上回る33組合（前年同期30組合）が100万円以上の高額回答を引き出し、うち9組合（前年同期7組合）が150万円以上を勝ち取っています。

規模別に見ると、月数では「29人以下」、「30～99人」で全体平均以上となっており、「1,000人以上」が加重平均額で723,583円と高水準となっています。

前年実績比較可能な組合での回答状況

同一組合での対比が可能な282組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は665,667円で、前年を9,139円上回り、引き上げ率は1.39%となっています。

このうち、63.1%にあたる178組合が前年実績以上の回答を引き出しており、前年同期（60.3%）に比べ2.8ポイント増加しています。

建設関連労連の組合で60万円以上の増額を勝ち取ったのをはじめ、21組合が前年実績より10万円以上高い回答を得ています。

単産・部会別に見ると、前年実績と単純平均額で比較可能な21単産・部会のうち、前年実績額からプラスが12単産・部会、マイナスが9単産・部会となっています。

規模別に見ると「29人以下」以外は前年実績比プラスとなっており、「100~299人」では引き上げ率3.33%となっています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金獲得は、8単産・229組合で359件の成果獲得となり、前年同期比（2013年12月19日時点：181組合・224件）135件増と大きく上回りました。

このうちパートやアルバイトなどを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、7単産で233件となっています。月数報告のあった173件の単純平均は0.907ヵ月で、金額報告のあった73件の単純平均額は44,972円となっています。前年実績と比較可能な組合の単純平均月数を見ると138件の平均で0.846ヵ月と前年実績（0.868ヵ月）をわずかに下回っています。金額では46件平均で43,842円と前年実績比1,090円増となっています。

日給制で働く仲間の一時金獲得は、2単産・3件で単純平均額は154,635円となっています。

月給制（準職員・契約社員など）で働く仲間の一時金は6単産で103件獲得。月数では75件平均1.038ヵ月、金額では31件平均110,657円となっています。前年実績と比較可能な組合の単純平均月数を見ると53件の平均で1.026ヵ月と前年実績（0.985ヵ月）を若干上回っており、金額では18件平均130,961円と前年実績比8,562円増となっています。

また、再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金獲得はJMIU、生協労連、全印総連の3単産から20件の獲得報告が寄せられています。

2014年の年末一時金闘争は、単純平均月数・額、上積み獲得率、前年実績額以上獲得率などで前年を上回り、非正規で働く仲間の一時金獲得数が大幅に増えるなど、各組織の奮闘が伺える結果となりましたが、産業間・企業間のばらつきが見られると同時に、全体としては、物価上昇に追いつくだけの伸び率とはなりませんでした。

2015年春闘では、大幅賃上げを実現し、実質賃金の低下に歯止めをかけ、すべての労働者・国民の生活改善をめざし、職場・地域から奮闘していきましょう。